

体育学部

アドミッション・ポリシー

- 1. 【体育学を学ぶための基礎的な力を身に付けている学生】
文系・理系に偏ることのない基礎学力とともに、自分の得意分野の実技能力をも身に付けている学生
- 2. 【自己表現ができる学生】
自分が身に付けた学力や実技で得た経験値を総合的に活用・応用し、スポーツ・武道および体育・健康づくりに関する新たな課題やその解決策を考察し、他者に伝えることができる学生
- 3. 【新たな課題に挑む意欲のある学生】
礼節とスポーツマンシップを身に付けた、新たな課題に進んで挑戦しようとする、感性豊かで協調性のある学生

カリキュラム・ポリシー

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で、市民性、国際性を備えたリーダーを養成するために、課程や学生の志向性に沿って、学年進行で1.専門性の深化と充実、2.社会人としての豊かな教養の涵養、3.将来を展望し、勤労観・職業観を醸成できるための教育課程を編成しています。

ディプロマ・ポリシー

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダーを養成するための知識・能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学位を認定します。

教育課程の編成

授業科目は原則として学期完結型の科目（学期毎に単位が取れる科目）として設定しています。
ただし、一部の科目について、通年科目（1年間履修して単位がとれる科目）となっています。

	1年	2年	3年	4年	
一般科目	コミュニケーション科目				
	社会・文化・自然科目				
	総合科目				
キャリア形成科目	キャリアデザイン科目				
専門科目	基礎科目A（人文・社会・自然系）				
		基礎科目B（指導・普及系）			
		応用科目			
		実験演習科目			
	関連実技科目				
		ゼミナール（卒業研究）			
専攻科目	専修科目				
		指導実践科目			
教職科目	教職				
		専門			

- コミュニケーション科目：国内はもとより国際社会で活躍できる語学力とコミュニケーション能力を涵養する科目
- 社会・文化・自然科目：社会の一員として、人間、社会、文化自然及び環境に関する教養や態度を涵養する科目
- 総合科目：社会の一員として、基礎的な情報リテラシー、表現的能力や討論力を身につける科目
- キャリアデザイン科目：スポーツリーダーとしての将来像と勤労観・職業観を醸成する科目
- 基礎科目A（人文・社会・自然系）：体育学の基礎となる人文・社会及び自然系の分野の内容を理解する科目
- 基礎科目B（指導・普及系）：スポーツ・武道及び体育・健康づくりについての指導や普及の基礎的な内容を理解する科目
- 応用科目：国民各層のスポーツ・武道及び体育・健康づくりを指導し、普及させるための専門的、応用的な内容を身につける科目
- 実験演習科目：スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な科学的支援力や表現的能力を身につける科目
- 関連実技科目：スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な実技力を身につける科目
- ゼミナール（卒業研究）：スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける関心のあるテーマについて、体育学の知識を総合的に活用し、課題設定、解決、説明する能力を身につける科目
- 専修科目（アスリート・コーチング系／生涯スポーツ系／武道系）：スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関して、年齢、目的等に応じた体系的な実技指導力や事業運営力を身につける科目
- 指導実践科目（アスリート・コーチング系／生涯スポーツ系／武道系）：専修科目等で身につけた体系的な実技指導力や事業運営力を実地的・実践的に活用し、深める科目
- 教職：中学校や高等学校の教員としての免許を取得するための教職に関する科目
- 専門：中学校や高等学校の保健体育の教員としての免許を取得するための専門（教科）に関する科目

また、授業科目は下表のように、履修（選択）の仕方により「必修科目」、「選択科目」、「自由科目」に分類されます。

区 分	科目区分の特徴（ねらい）
必修科目	単一の授業科目で、その修得が義務づけられている科目
選択科目	複数の授業科目のうちから指定する科目数又は単位数の修得が義務づけられている科目
自由科目	必修科目及び選択科目を除き、その修得を卒業認定の要件とされている科目

授業時間

1：学期と授業時間割

学年を前期（4月1日～9月30日）と後期（10月1日～3月31日）に区分し、原則として学期ごとに授業科目の設定を行います。なお、授業は、原則として各学期とも15週（試験を課す場合は16週）にわたって行います。授業は、下表のとおり行います。集中講義や学外授業などを行うことがあります。

前期：4月1日～9月30日
後期：10月1日～3月31日

	開始	終了
第1時限 (90分)	8：30	10：00
第2時限 (90分)	10：10	11：40
第3時限 (90分)	12：40	14：10
第4時限 (90分)	14：20	15：50
第5時限 (90分)	16：00	17：30

2：休業日

休業日（授業を行わない日）は次のとおりですが、休業日においても特別な場合には授業を行うことがあります。

- ①週休日（土曜日・日曜日）及び国民の休日に関する法律に定める休日
- ②開学記念日（10月1日）
- ③夏期休業日（8月5日～9月30日）
冬期休業日（12月24日～1月9日）
春期休業日（3月11日～3月31日）
- ④その他大学が定めた日
注：休業日においても、特別な場合には講義を行うことがあります（集中講義等）。

3：授業の方法

講義、演習、実験、実習もしくは実技又はこれらの組み合わせにより実施します。また、授業は対面形式の他、遠隔形式で実施しているものもあります。
※情報活用能力の育成等のため、ノートPC、タブレット等の情報機器を必携としております。



スポーツ総合課程

スポーツ 総合課程の 目標

専攻系の 紹介

スポーツ総合課程は、体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、競技スポーツ、生涯スポーツ、健康づくりに関する専門的能力を、理論と実践の往還を通じて修得することにより、バイタリティーを持ち、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。

アスリート・コーチング系

トップレベルの競技力の向上、ジュニア期からトップレベルまでのコーチングを行うことのできる人材を養成するコース。

生涯スポーツ系

健康づくりのコーディネートやスポーツクラブ等の管理運営、プログラム開発を行うことのできる人材を養成するコース。

在学生からのメッセージ

スポーツ総合課程2年

年見穂風

TOSHIMI Honoka

Q1：なぜ鹿屋体育大に？

指導者の先生方や、周りの環境が素晴らしく競技に集中できると思ったからです。

Q2：今頑張っていること、目標は？

自転車競技で日本一になるということ、教員免許を取得することが目標です。

Q3：好きな授業はなんですか？

卓球の授業です。球技は苦手でもテストも合格できるか不安でしたが、先生方が優しく教えてくれたおかげで合格できました。いろんな学生の人たちとの交流の時間も多く楽しかったです！

Q4：鹿屋体育大を目指す人に一言！

鹿屋体育大学は勉強も課外活動もどちらも一生懸命取り組みたいという人にぴったりの環境です。鹿屋体育大学を目指しているみなさん！一緒に目標に向かって頑張りましょう！

私の時間割＜1年後期＞

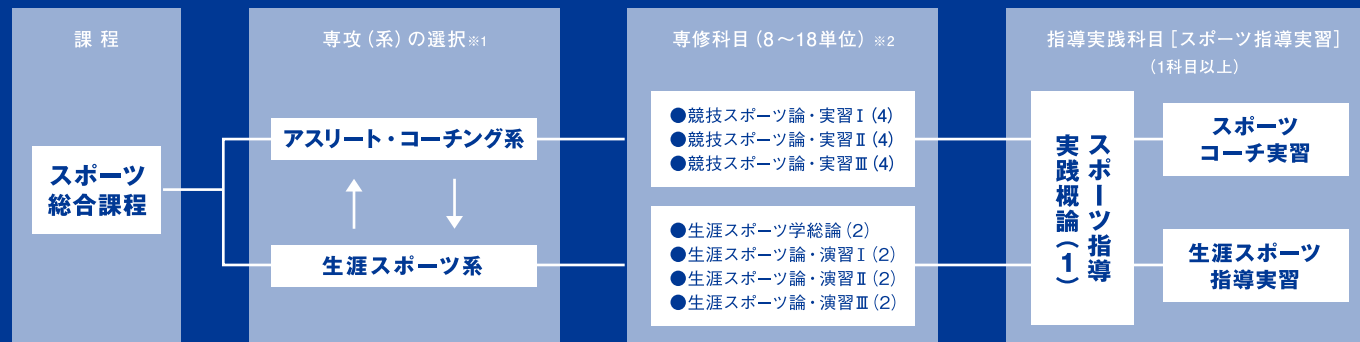
	月	火	水	木	金
1限		スポーツ心理学	人権論	総合英語Ⅲ (健康とスポーツ 関連の英語)	運動生理学
2限		キャリアデザインⅡ スポーツ指導 実践概論		日本国憲法	特別支援教育
3限		国語・文章 表現法	体育学実験Ⅰ	教師論	衛生学・ 公衆衛生学
4限	柔道		体育学実験Ⅰ	ラグビー	競技スポーツ論・ 実習Ⅰ (自転車競技)
5限			体育学実験Ⅰ		競技スポーツ論・ 実習Ⅰ (自転車競技)

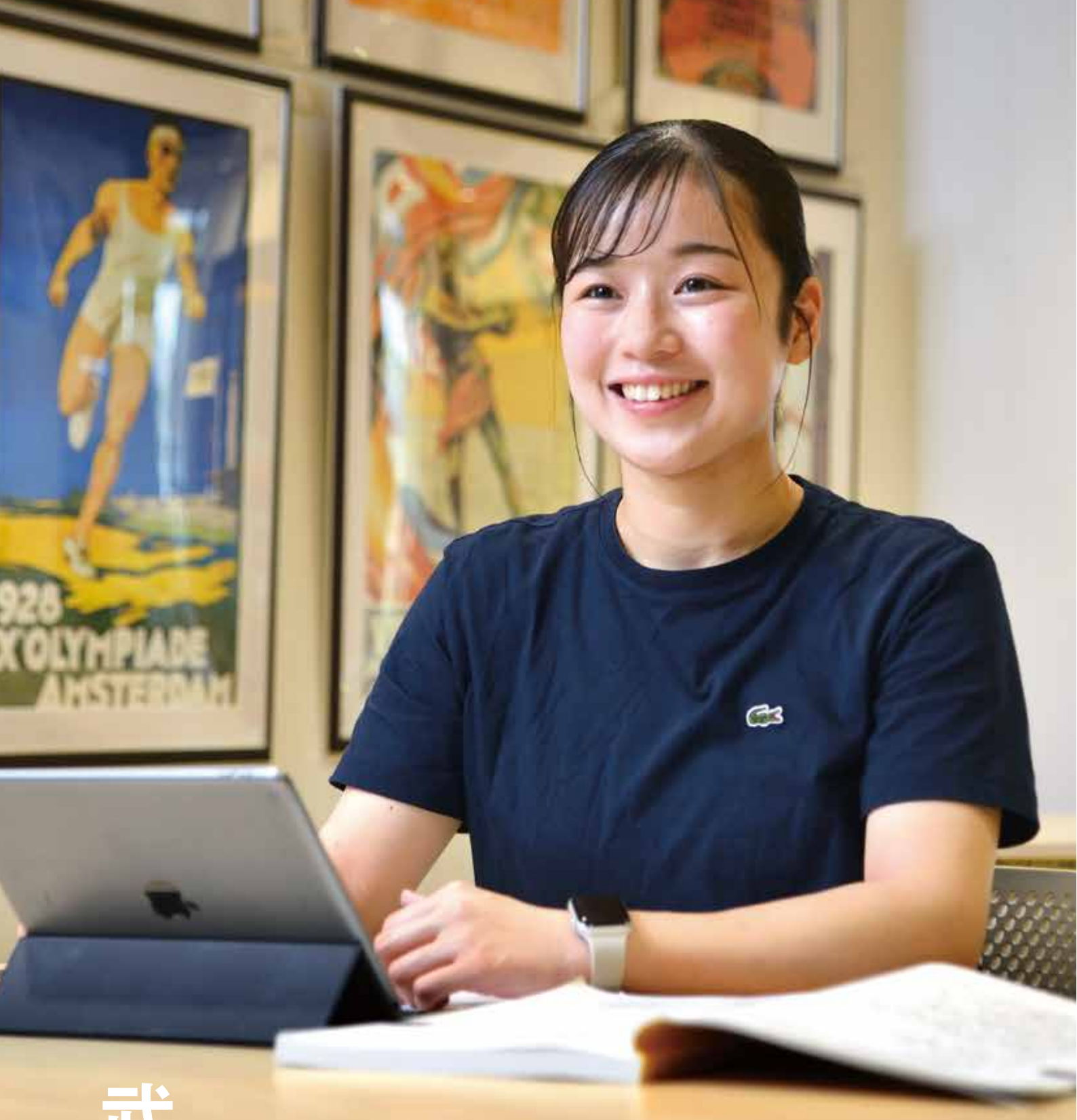
■総合型選抜(SS)入試 ■出身校：宮崎県立都城工業高等学校



専攻科目の系の選択

※1) 決められた条件の中で、1つの系以上を選択できるものとします。スポーツ総合課程では2つの系より選択できます。※2) 各系の必修科目を示しています。
(注) 選択した系以外で履修可能な他系を → で示しています。()内は単位数





武道課程

武道課程の目標

武道課程は、体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、我が国発祥の身体運動文化として伝承され、今日において競技文化としても広く認識されている武道、特に柔道・剣道における心と技を伝統的修練形式である稽古を通じて修得することにより、武道の精神と、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。

専攻系の紹介

武道系

武道における「こころ」と「わざ」を伝統的修練形式により学び、武道の実技指導を行うことのできる人材を養成するコース

在学生からのメッセージ

武道課程3年

大淵 真由

OBUCHI Mayu

Q1：なぜ鹿屋体育大に？

国立大学唯一の体育大学という点、スポーツ・武道について深く学習できる点、中学校・高校の保健体育の教員免許を取得できる点、そしてインカレで日本一の実績がある剣道部でさらに自分を高めていきたいと思った点から鹿屋体育大学を受験しました。

Q2：今頑張っていること、目標は？

課外活動と勉強の両立です。課外活動ではレギュラーに入ることを目標に努力しています。勉強では授業はもちろん、本学で取得できる資格を最大限取れることを目標に努力しています。

Q3：好きな授業はなんですか？

武道史の授業です。武道の一つである剣道や柔道の起源などはもちろん、なぜ「武道は人間形成の道である」という言葉が言い伝えられているのかなどを知ることができ、面白い！と感じたことを覚えています。

Q4：鹿屋体育大を目指す人に一言！

鹿屋体育大学は自然の環境と充実した施設が整っており、SPORTEC スポーツパフォーマンス研究センターでは最先端の練習が出来ます。また、どのスポーツも全国トップクラスの選手が集まっているため刺激や学びを得ることが多いです。スポーツに興味があるみなさん、ぜひ鹿屋体育大学で一緒に目標に向かって頑張りましょう！

私の時間割＜2年前期＞

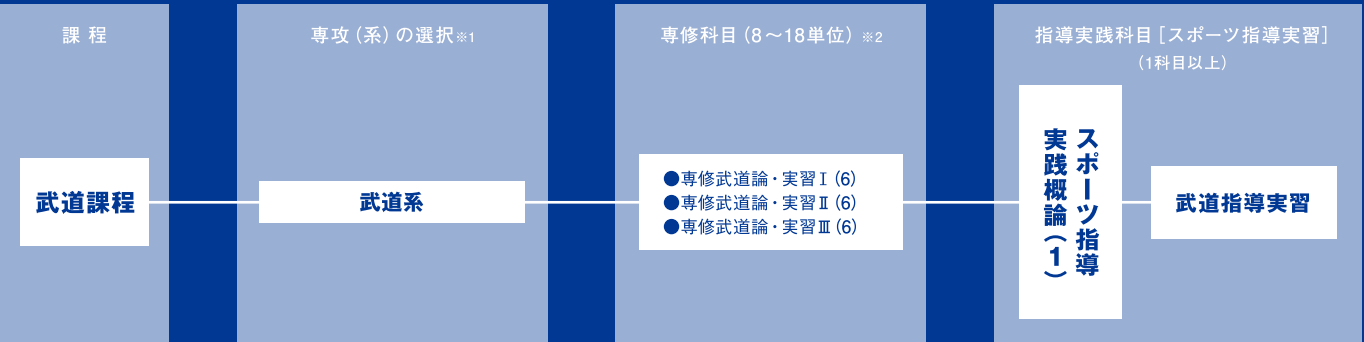
	月	火	水	木	金
1限		歴史学 社会学	保健体育科 教育法Ⅱ		
2限	教育方法・ 技術				
3限			学校保健		衛生学・ 公衆衛生学
4限	教育課程論		コーチ学概論 運動学概論	弓道	専修武道論・ 実習（剣道）
5限					専修武道論・ 実習（剣道）

■一般選抜 ■出身校：福岡県立嘉穂高等学校



専攻科目の系の選択

※1) 決められた条件の中で、1つの系以上を選択できるものとします。スポーツ総合課程では2つの系より選択できます。※2) 各系の必修科目を示しています。
(注) 選択した系以外で履修可能な他系を → で示しています。() 内は単位数



在学生（編入学生）からのメッセージ

スポーツ総合課程4年

蜂須賀 友助

HACHISUKA Yusuke



Q1：なぜ鹿屋体育大に？

編入前の大学でスポーツについて学ぶ中で、より深く高いレベルで学びたいと思ったからです。元々、一般選抜で鹿屋に入学しようとしたのですが、残念ながら受験に失敗しました。当時からの編入学の制度を知っていたため、このような方法で入学しました。

Q2：今頑張っていること、目標は？

大学の講義はもちろん、課外活動（硬式野球部）で全国大会で勝利するために文武両道に励んでいます。また、「スポーツをカタルガ！」などの本学が実施するイベントにも積極的に参加して、アナウンサーになるという夢を叶えるため、スポーツの魅力を伝える活動も行っています。

Q3：好きな授業はなんですか？

「競技スポーツ論・実習」の授業は、鹿屋ならではの授業だと思います。各専門競技について、戦術や技術の話、歴史やマネジメントなどの様々な観点から掘り下げていきます。競技力向上にもつながりますし、競技の取り巻く環境などにも触れることで、より競技の魅力を知ることができました。

Q4：鹿屋体育大を目指す人に一言！

編入学は2年間と短いですが、鹿屋体育大学では様々な観点からスポーツについて学ぶことができ充実した日々を過ごすことができます。将来、プレイヤーとして活躍したい人、教員など体育・スポーツの魅力を語っていきたい人、スポーツに何らかの形で関わってみたい人なら、ぜひ鹿屋体育大学に来て、素晴らしい先生や先輩、周りの方々と一緒にみなさんの夢を叶えていきましょう！

私の時間割＜3年前期＞

	月	火	水	木	金
1限			アスレチック トレーナー論	スポーツ戦術 実践論	スポーツと法
2限	生徒・ 進路指導論	スポーツ マネジメント論	スポーツ 社会学	運動生化学	
3限		ソフトボール	スポーツ医学		スポーツ トレーニング 実践論
4限	教育心理学		バドミントン		競技スポーツ論・ 実習Ⅱ－野球
5限					競技スポーツ論・ 実習Ⅱ－野球

■第3年次編入学 ■出身校：岐阜県立長良高等学校、
中部学院大学 スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科



□ 体育学実験Ⅱ ーバイオメカニクスー

本授業は、地面反力計、3次元動作分析システム、および位置座標測定システムを使い、バイオメカニクスの視点から身体運動を考える科目です。機器の測定技術を得るとともに、データの分析方法及び解釈について専門理論を学習し、学生が研究計画の立案および研究を行うための素養を身につけることを目指した授業です。

Pick up | 注目授業

□ 保健体育科教育法Ⅲ

4年次の教育実習に向けた実践力を身に付けるために、保健体育科の目標や内容、指導法、評価法等について理論と実践を往還しながら、単元構造化、学習指導案等を作成して模擬授業を行います。模擬授業の実施に当たっては、選択領域を「球技ゴール型・ネット型」、「体づくり運動・器械運動」、「体育理論・保健」の3つに分け、その中から各自で2領域を選択します。



ゼミナール Seminar

ゼミナールは、少人数の学生が指導教員の下で、お互いに質疑討論を交わし、学習成果を発表しながら専門研究領域における知識を深め、研究方法を履修していく授業形態です。3,4年次の必修科目で、各指導教員により実施されます。ここでは、数あるゼミの中から3つを紹介します。

スポーツ・武道実践科学系 藤井 雅文ゼミ | 競技力・チーム力向上に向けた取り組みの検証

私たちのゼミでは、主に野球専攻生が在籍し、パフォーマンス向上やチーム力向上、スポーツと社会の関わり、スポーツが抱える問題などについて、各自で研究テーマを設定します。SPORTECスポーツパフォーマンス研究センターや、地域一体型の課外活動団体運営など、鹿屋体育大学ならではの研究フィールドで研究を進めることができます。普段のゼミ活動では、各々が決めたテーマについて全員で意見を出し合い、内容を整理することで、様々な知見を獲得することができます。また、学力や競技力に関係なく、いい雰囲気積極的にディスカッションすることで、各自思考を深めることができるのも本ゼミの特徴です。



平泉 誠悟さん

HIRAIZUMI Seigo

■一般入試
■出身校：愛知県立豊田南高等学校

私は野球の投球動作に関するパフォーマンス研究がしたいと思い、藤井ゼミを選びました。ゼミでは初めて扱うような様々な測定機材や測定方法について知ることができます。私自身、モーションキャプチャ等を用いて投球動作の分析を行っており、難しいこともありますが充実した時間を過ごしています。また、ゼミ仲間とのディスカッションによって、考え方を正しく整理することができているため、現在の競技生活に繋がっています。



スポーツ生命科学系 沼尾 成晴ゼミ | 代謝から運動効果を探求する



私たちのゼミでは、身体に及ぼす運動効果の機序について、主に代謝の観点から研究しています。呼吸や血液から得られる代謝情報を利用しながら、運動中の代謝応答を観察します。最近では、脂肪細胞から分泌される代謝産物に着目して研究を進めています。ゼミ活動では、代謝に関する基本的な知識の習得に加え、論文の講読を進めます。それらを通して、自分の興味関心に基づき、卒業研究の課題を各自で設定し、研究計画の立案に繋がります。運動の効果は幅広いため、様々な観点から運動の意義を考えることができるのが私たちのゼミの特徴です。

山田 大詩さん

YAMADA Taishi

■推薦入試
■出身校：長崎県立諫早高等学校

私は、陸上競技選手の代謝や走パフォーマンスに関して深く学び研究するために当ゼミに入りました。現在は、本学の陸上競技部の協力のもと、血液検査値を基にした代謝データと走パフォーマンスの関連を研究しています。当ゼミでの研究・活動を通して、効率の良い練習方法だけでなく、オーバーワーク、貧血、体の成長など指導者にとって理解しておくべき大切な視点を科学的に学び、将来、指導現場で生かしていきたいと思っています。



スポーツ人文・応用社会科学系 関 朋昭ゼミ | 新しい自分を見つける。自分の魅力を引き出せ！！

私たちのゼミでは、幅広い文献や書籍等に触れ、これまでになかった興味・関心を持つことができます。ゼミ内の課題発表では、積極的に発言することを大事にしていて、もし間違っていたとしてもそれは正解へのプロセスであり、次に頑張ろうと思えるような明るい雰囲気が常に保たれています。一人一人興味・関心を持つ点が異なり、正解が限られないものばかりであるため、様々な発見ができるのが当ゼミの特徴の一つです。各々の興味・関心に沿った研究ができ、自分にしか考えられないような型破りな研究テーマを掲げたりできるユーモアあふれたゼミとなっています。



高山 健人さん

TAKAYAMA Kento

■一般入試
■出身校：宮城県立日南高等学校

私は新しい自分を見つけるためにこのゼミを選びました。読書に縁もゆかりもない生活をしてきた中、本を読む機会や様々な文献を扱うこのゼミに入れば新しい自分が見つかるのではないかと考えました。また、課題発表などで培われる積極性や発言力はこれから社会に出ても役に立つものです。その中で「失敗を恐れない」といったことも一つの能力として伸ばしていきたいと思っています。

